

令和5年 飼料用米「やまだわら」栽培こよみ

令和5年4月
氷見市農業技術者協議会

■栽培のポイント

- ①立毛乾燥による経費削減のため、5月5日までに田植えを行う。
- ②栽培期間の葉色を3.8以上に維持し、粗玄米単収700kg以上を確保
- ③主食用米に準じた雑草・病害虫防除の徹底（特にいもち病、紋枯病）
- ④主食用米との明確な区分管理（作付ほ場の固定、機械・施設の清掃を徹底し混種を防止）
- ⑤堆肥施用による土づくりの実施（地力維持）

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
生育			4/25 ~5/5 田植え			7/12 幼穂形成期	8/7 出穂期	9/30 成熟期	土づくり
水管理	種籾準備 3.0kg/10a		深水	浅水	中干し	間断かん水 → 飽水管理	出穂後20日間湛水		出穂後積算気温 1,300~1,350℃が目安
主要作業	<ul style="list-style-type: none"> ○比重選の実施（硫安2.5kg/水10ℓ） ○種子消毒（モミガードC水和剤を使用） ○浸種、催芽 ○育苗播種（箱当たり播種量120g） ○育苗箱に薬剤を施用（ルーチンブライト箱粒剤） 		<ul style="list-style-type: none"> ○栽培密度50（中山間は60）株、必要育苗数15~18箱/反 ○適正基肥量の遵守（別表①参照） ○適期に除草剤を処理（別表②参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ○溝掘り、中干しを行い、地耐力を確保 ○適宜、除草剤を処理（別表②参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ○畦畔草刈の徹底（カメムシ対策） ○葉色が4.0を下回る場合は直ちに追肥（窒素1.0~1.5kg/反）し、3.8以上を維持 	<ul style="list-style-type: none"> ○出穂後20日間は湛水管理 ○2回目防除…ビームスタークル粉剤5DL（4kg/反） ○1回目防除…ラブサイドキラップ粉剤DL（4kg/反） ○地域一斉防除に準じて防除 	<ul style="list-style-type: none"> ○成熟期の7日後を目安に収穫（立毛乾燥する） ○乾燥・調製施設、コンバインの清掃を徹底 ○定期的な籾水分や保管状況を確認（品質低下を防止） ○出荷にあわせた計画的に籾摺り ○ワラ回収する場合は、牛糞堆肥1.5tとケイ酸質資材100kg/反を必ず施用し、耕起（稲ワラの持出分を補給） 		

■別表①【10aあたり施肥量】 ※土壌条件や生育状況により施肥量を加減する。

施肥体系	基肥		穂肥	
			1回目（幼穂長2mm）	2回目（1回目10日後）
分施	LP555-1号（N：15%）	25~30kg	ひみ穂肥：10~13kg	ひみ穂肥：10~13kg
基肥一発	Lpss 晩生専用（N：21%）	35~43kg	葉色が4.0未満の場合 ひみ穂肥：7~10kg	—
	BB やまだわら 3052（N：30%）	25~30kg		

■別表②【雑草防除体系】 ※ベンゾビスクロン、メソトリオン、テフリトリオンを含まないものを使用する

	登録農薬名	使用量(10a)	使用時期
1回目	エンペラー1 [※] 粒剤（豆つぶ剤）	1kg（250g）	移植時~ヒエ3.0葉期 [移植後30日まで]
	キクトモ1 [※] 粒剤	1kg	移植時~ヒエ2.5葉期 [移植後30日まで]
2回目	ツイゲキ1 [※] 粒剤（豆つぶ剤）	1kg（250g）	移植後14日（稲5葉期以降）~ヒエ4葉期 [収穫60日前まで]
	クリンチャー1 [※] 粒剤	1kg	移植後7日~ヒエ4.0葉期 [収穫30日前まで]
		1.5kg	移植後25日~ヒエ5.0葉期 [収穫30日前まで]
	バサグラン粒剤	3~4kg	移植後15~50日 [収穫60日前まで]
	バサグラン液剤	500~700ml	移植後15~50日 [収穫50日前まで]
	クリンチャーEW	100ml	移植後20日~ヒエ6.0葉期 [収穫30日前まで]